

高遠桜

松下 幹生

春の日差しに 山一面を 華に染め
遠くアルプス 霞み見る
青い空 白い峰 新緑を背に
艶（あで）やかに満つ 木の下で
蝶のように 移り撮る 君を目で追う
ああ 伊那の楽園 高遠桜

残雪溶けて 厳しく寒い 冬も去り
コブシも咲いて 春の香風（かぜ）
山の坂 登りきり 開けた眺め
艶（つや）めく髪を なびかせて
風に溶け 絵のような 君の姿に
ああ 春の楽園 高遠桜

桜の丘に 朱色の屋根が 調和して
信玄公も 愛でたのか
幽閉の 絵島の目も 安らげたのか
二人で座り 桜餅
のんびりと 流れ去る 至福の時間
ああ 今年も来れたね 高遠桜